

日本海ブロックにおける特筆すべき情報(府県水産試験場等)

機関名: (地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成22年 1月～3月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 秋田県農林水産技術センター水産振興センター

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成22年 1月～3月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 山形県水産試験場

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成22年 1月～3月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 新潟県水産海洋研究所

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成22年 1月～3月	・ハタハタが2～3月豊漁。過去5年平均と比べ、2月が3.7倍、3月が2.3倍の漁獲(主要8地区)。	特になし	特になし	特になし

機関名: 富山県農林水産総合技術センター水産研究所

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成22年 1月～3月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 石川県水産総合センター

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成22年 1月～3月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 福井県水産試験場

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成22年 1月～3月	1～3月に南越前町の定置網でサケガンラが大量に入網。操業のたびに10～30尾。例年はほとんど漁獲されていない。	特になし	特になし	特になし

機関名: 京都府農林水産技術センター海洋センター

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成22年 1月～3月	◎メダイが12月から好漁で2月までの漁獲量99.7トン(平年の3.9倍)。	◎1/4、当所斜路にリュウグウノツカイ(全長2.55m)が漂着した。府内各地の定置網に1～2月、リュウグウノツカイ、サケガンラが相当数入網した模様(サケガンラは3月も入網)。	特になし	特になし

機関名: 兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成22年 1月～3月	特になし	特になし	特になし	H22/1/27 香美町の大型定置にリュウグウノツカイが2個体(全長約4m)採捕された

機関名: 鳥取県水産試験場

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成22年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・3月は時化が多く、まき網水揚量は約2900トンで近年では2006年に次ぐ不漁となっている。 ・1～3月にかけてテンガイハタ(フリソデウオ科)の捕獲情報が7件もあった。 ・ハタハタの卵塊が夏泊のアラメ群落に固着しているのが観察された(3月) ・ソウハチの成魚が3月に美保湾(淀江支所地先、境港地先)で漁獲されている。 	表面水温は低め基調の平年並みであった。		

機関名: 島根県水産技術センター

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成22年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> (1月)浜田地区のイカ釣り漁業でのスルメイカ漁獲量は平年の1/100以下であった。浜田地区の沖底のマフグの1統1航海当たり漁獲量は平年の22倍であった。 (2月)浜田地区のまき網のカタクチイワシ漁獲量は平年の38倍と好漁であった。 	特になし	特になし	特になし

機関名: 山口県水産研究センター

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成22年 1月～3月		山口県長門市の仙崎湾において平成22年1月より貝毒原因プランクトン(アレキサンドリウム カテネラ)が増殖し、国の規制値を超える貝毒が検出されたため平成22年1月13日から3月23日までの期間、同湾における二枚貝の出荷・採捕自主規制を行った。期間中の貝毒原因プランクトン発生数は最高で1月22日の76,400cells/ℓであった。		